U-118 MG

300362

□要

□明

□の細胞株は、1966年から1969年にかけてJ. Pontenらによって悪性神経膠腫（U-87 MG ′ U-138 MG ′ U-373 MGも参照）から誘導された数多くの細胞株の一つである。

ティッシュ	脳
病気	アストロサイトーマ
転移部位	該当なし（原発性頭蓋内腫瘍、遠隔転移なし）

用途

膠芽腫／星細胞腫の研究；グリア腫瘍の生物学；放射線感受性；化学療法の評価（テモゾロミド、 CCNU）；EGFR経路の解析；NF-κBシグナル伝達；中枢神経系腫瘍の非臨床モデル化

同義語

- U-118 MG
- U-118-MG
- U118-MG
- U118MG
- U118
- 118 MG
- 118MG

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	アドヘレント
GMOの有無	非遺伝子組み換え

GMOのステータスに関する詳細

No genetic modification; wildtype glioma cell line isolated by J. Ponten et al. (1966–1969)

バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	ミックス
細胞の種類	グリア細胞（アストロサイト）
腫瘍形成性	はい、ヌードマウスで

核型

□の系統の染色体数はほぼ5倍体であり、染色体数の分布は広い（40%の細胞は110から115の範囲であった）。t(1p,2p) ′ t(3p,?) ′ t(4p,11q) ′ t(7p,22q) ′ M6 ′ t(9q,?) ′ i(11q)18q ′ t(10q,?) ′ M14 ′ M15 ′ M16 ′ M17 ′ t(10q,22q)の14マーカーがほとんどのメタフェースに認められ、 □のうち6マーカーはいくつかの細胞に認められ、 10マーカーは1細胞のみに認められた。正常な7 ′ 8 ′ 12 ′ 19 ′ 20 ′ 22番染色体は細胞あたり5~6コピー、xは2コピー、Yは存在しなかった。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

倍増時間	約36～48時間

識別子

引用

U-118 MG（Cytion カタログ番号 300362）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_0633

発現と感受性

抗原発現

血液型A型、Rh+ ′ HLA Aw24 ′ A28 ′ B12 ′ Bw47

アイソザイム

Me-2 ′ 1 ′ PGM3 ′ 2 ′ PGM1 ′ 2 ′ ES-D ′ 1 ′ AK-1 ′ 1-2 ′ GLO-1 ′ 1-2 ′ G6PD ′ B、表現型頻度積： 0.0001

取り扱いと飼育

培地

DMEM ′ w：4.5g/Lグルコース、w：4mM L-グルタミン、w：3.7g/L NaHCO3 ′ w：1.0mMピルビン酸ナトリウム（Cytion品番820300a）

培養雰囲気	37℃ ′ 5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した細胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml ′ T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml ′ T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで細胞を完全に覆う。室温で 8-10分間インキュベートし、細胞を剥離させる。インキュベーション後、細胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、細胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

分割比率	1～3
播種密度	2 × 10^4 細胞/cm^2
流体の更新	週2～3回
解凍後の回復	解凍後、細胞を5 × 10^4 細胞/cm^2の密度で播種し、最初の培地交換を行う前に、少なくとも 24時間かけて細胞の付着を待つ。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがない □とを確認するため、細胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、50%基礎培地＋40%FBS＋10%DMSO、またはCM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用する。□の培地には、回復を促進し、凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤が含まれている。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された細胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	47年
民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守する □とが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。□れは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能である□とを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合している□とを保証します。
詳細については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB